

総務委員会

令和5年10月4日

防災の取組について（茨城県常総市）

常総市では、被災したことにより、見えた課題を整理し、「水害時の災害対応」、「災害情報の伝達・共有」及び「住民の防災意識」の課題に対し、ハード面・ソフト面での対策が講じられている。

蓮田市の防災行政においても、水害対策は切り離すことのできない課題であるが、水害については、災害リスクの確認から避難までの時間があることから、自治体と住民の取組により被害を最小限にすることは可能である。蓮田市に

おいても、常総市の教訓を踏まえた水害対策を図っていきたい。

DX推進について（茨城県土浦市）

土浦市では、事業者との連携協定及び覚書締結やデジタルサポーター制度を用いて、DX推進に取り組んでいる。行政、事業者及び市民が一体となった土浦市におけるDX推進については、技術面や費用面に係る効果だけでなく、住民にも浸透するDX推進につながるものであり、蓮田市のDX推進の過程においても取り入れるべき手法である。

民生文教委員会

令和5年10月12日～10月13日

スマートウエルネスみつけの取組について（新潟県見附市）

見附市では、身体面の健康だけではなく、人々が生きがいを感じ、安心して豊かな生活を送れる状態を“健幸（けんこう）＝ウエルネス”と呼んでおり“健幸”なまちづくりに挑戦している。蓮田市においても、市民の命を守る健康福祉のシステムづくりを更に前に進めることが急務であるといえる。

中学校の部活動の取組について（新潟県長岡市）

長岡市では、団体の競技人口の減少や、指導者不足に拍車がかかるなどの課題を抱えている。教員の働き方改革を進めるのはもちろんだが、円滑に部活動地域移行を進めるために、部活動地域移行室がセンター的機能を発揮し、関係機関をけん引して、着実に進めていて、蓮田市においても大いに参考になると感じた。

建設経済委員会

令和5年10月11日～10月12日

デマンド交通（ひめさゆり）について（新潟県三条市）

三条市の公共交通が抱える課題（マイカー依存の拡大、三条市コミュニティバスの利用者の減少）へ対応するためにデマンド交通（ひめさゆり）の運行を行うことにより市民の利便性の向上をめざし、運用を開始したデマンド交通についての課題と解決策を現地で確認した。また、運行中のデマンド交通の課題を解決するためのAIデマンド交通の導入についても視察をした。

デジタル地域通貨（ながおかペイ）について（新潟県長岡市）

長岡市では、市内での消費喚起・市内事業者の売上拡大を目的として「デジタル地域通貨（ながおかペイ）」の運用を令和4年度から開始した。システム導入費、交付金などの財源、初年度キャンペーンなどの課題を確認し、現地通貨を実際どのように使用するかを確認した。課題は財源の確保、大型店舗などへのシステム導入、市民への普及方法とのことだった。

- 市役所行政資料コーナー
- 蓮田駅西口行政センター
- コミュニティセンター
- 農業者トレーニングセンター
- 図書館
- 中央公民館及び関山分館
- 勤労青少年ホーム

議案の審議内容や一般質問などを詳しくお知りになりたい場合は、市議会会議録がホームページでご覧いただけます。これまで市役所などの公共施設に備えてあった会議録は、今までと同様に次の施設でご覧いただけます。

ホームページで
会議録が閲覧
できます

<https://www.city.hasuda.saitama.jp/>